

国際ロータリー第2510地区
2008～2009年度

ガバナー一月信

No.9
2009
3

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008-2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2510地区

2008～2009年度 ガバナー 矢橋 温郎 HARUO YAHASHI

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 e-mail:rid2510@nifty.com

ホームページ: <http://www.ri2510.gr.jp>





RI国際協議会(カルフォルニア、サンディエゴ)にて

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

目次

CONTENTS

- 1 ————— ガバナーメッセージ
- 2 ————— 国際協議会出席報告
- 3 ————— ガバナーノミニー決定宣言
- 4 ————— 私の“Rotary Notes”
Stigma 恥辱の烙印
- 6 ————— ガバナー補佐レポート
ロータリーの新たな奉仕を求めて
- 7 ————— ローターアクトクラブは必要か
- 8 ————— 地区委員会報告
- 10 ————— ガバナー補佐会議報告
- 11 ————— ガバナー公式訪問
- 16 ————— ロータリー財団寄付
米山記念奨学会寄付
- 16 ————— 文庫通信
- 17 ————— 新入会員のご紹介／訃報
- 18 ————— 第3700地区(韓国・大邱)地区大会のご案内
2008-09年度 RIの賞・表彰についてのお知らせ
- 19 ————— 出席率・会員数
- 20 ————— 地区カレンダー(3月・4月)
- 21 ————— 例会曜日・例会時間・例会場の変更等について



ガバナーメッセージ

3月は（私の）後期高齢者月間

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎
(札幌西RC)

■ ■ ■

今年の春分の日は3月20日です。

いきなり祝日の話題から入ります。私の誕生日は3月21日です。年によっては、春分の日にあたります。今年はずれたようです。誕生日が休日!などと子どものように喜ぶ無邪気さもすっかり失せてしまいました。それでも土曜日なので、まあ会社は休みです。肝心の春分の日が金曜日ですから3連休。

昔は連休など珍しかったような気がします。「飛び石連休」なんて言葉自体、最近聞かれません。それどころか、国策で月曜日に祝日を移動させての「ハッピーマンデー」。土曜日からの3連休を有意義に使う若者も多いでしょう。私ほどの年代になると、かえってヒマを持って余してしまいます。

月曜日に例会を開催するロータリー・クラブは、祝日だから仕方なく休み、というケースが増えました。加えて任意で休めますので、例会日数の確保が大変なことでしょう。創立時には、まさか月曜を祝日にする制度ができるとは予想できなかったかと思います。

当地区には、土曜日例会のクラブもあります。全国的にみても少数派です。平日のメイクアップが難しいロータリアンには、貴重な補填機会です。平日に集まりづらい会員のために、あえて土曜例会を設定しているクラブもあるやに聞きます。が、多くは半ドンの名残。週休二日制がこれほど定着するとは、やはり創立時には想定していなかったのに違いありません。

規定審議会でロータリーのシステムが変更されたり、国内の制度がいじられたり、国民習慣が変化したり。例会ひとつ開くのに、時代の流れを読まなければなりません。

話が大きくそれました。私の誕生日の話です。昭和9年生まれですから、今月で75歳になります。世に言う後期高齢者です。「後期高齢者医療制度」には、病気になったらお世話になりましょう。それより気になるのが高齢運転者標識。紅葉マークとかシルバーマークなどと称していますが、いわゆる「枯れ葉マーク」です。75歳以上のドライバーは、これを車に貼るのが義務付けられます（今後緩和の方向に向かうようですが）。ようやくジャガーの運転に見合う渋い年頃になったと思ったら、外観をぶち壊すようなシールを貼れと。酷な話です。一方で、確かに運転はしんどくなってきました。公道では事故に気をつけていますが、駐車場でのバックは思うように進みません。枯れ葉マークはシャクですが、いたわってはもらいたい。

天皇陛下も昨年12月で75歳。私は早生まれなので、同じ学年です。最近、御公務の多忙を周囲が心配しているとの報道が増えました。皇室公務や宮中祭祀とは比べものになりませんが、昨年のガバナー公式訪問と地区大会だけでもヘトヘトになりました。それも半年で終わるのが救い。公式訪問と地区大会が毎日、一日中、果てしなく続く状態を想像するだけで動悸が。体調と仕事量が見合っているか。同い年だからこそわかります。

まれに、地区の事情でガバナーを再度務める方がいます。当地区でも、ガバナーが体調を崩したので直前ガバナーにご足労いただいた年度があります。私の再登板無きためにも、（もちろん地区のためにも）ガバナー・エレクトには健康に留意していただきたいものです。

エレクトといえば、旧聞に属しますが、米国大統領。オバマさんの次期大統領としてあれこれ発表する姿が、テレビに映し出されました。演壇に掛けられたマーク、「THE OFFICE of the PRESIDENT ELECT」が目を引きまします。当地区のPRESIDENT ELECT（会長エレクト）が集まるPresidents-Elect Training Seminar（PETS：会長エレクト研修セミナー）は、この号がみなさんのお手元に届く頃には終了しております。おつかれさまでした。

国際協議会出席報告

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **渡邊 恭久**

(滝川IRC)

ガバナーエレクトとして昨年9月と11月のGETS（国内研修）を既に終え、この度が最後になりますサンディエゴで国際協議会のエレクト研修に参加してまいりました。

日程では、冬期間の道路事情を考慮して、一日早く1月15日に滝川の自宅を発ち、16日の夕刻に成田からロスアンゼルスに向かいました。18日の午前には、ロスアンゼルスの南200kmの会場であるサンディエゴ マンチエスターハイアットホテルに集合したものです。日本からは34人中33人のガバナーエレクトとその配偶者28人。世界からは500余の地区からガバナーエレクトとその配偶者、この協議会の研修リーダーやサポート関係者を加えると1200人を超す大きな会議になりました。サンディエゴ市は西海岸では最も早くスペイン人が上陸した古い町で、今では戦艦ミッドウェイ号が停泊している軍港として有名な都市とのことでした。しかし、この会議の会期中にマチを探索。外食に行くどころかペットボトルも買いにも行けない日程の中で研修が進められたものです。

毎日8：45から本会議場で歌の練習や合唱、9：00点鐘。午前中はおよそRI会長・会長エレクトが席に着く重要課題の講演、本会議が10回。会場では指定された席にエレクトが着席をしているかどうか赤タスキを掛けた文字通り怖いSAAがチェックをとり、もし空いていればその名前を丁寧に確認し、まもなくそこが埋まるという管理の中での本会議でした。午後はRIが用意した各テーマでのグループ討論が14回も行われ、これも厳重な管理下のもと、猿の出来ない雰囲気の設定でありました。夜は、夕食会がいろいろなプログラムで工夫され、ある時は正装を、或いは民族衣装でまつりに参加など国際交流の趣向が施されておりました。25日には、全てのプログラムが恙なく終わり、われわれ日本の一行もサンディエゴからロスアンゼルスのホテルに戻り解散会のあとは自由開放となり、小生は27日に日本に向かうためロスアンゼルスを発ち、29日に帰宅した長い長い2週間でありました。

この協議会での特筆すべきことからは「ビル・ゲイツ氏の2億5500万ドルのポリオ撲滅のためロータリーへの寄附」と、それを受けてロータリーが更に1億ドルを上積みする事をRI理事会・財団管理委員会が決定した「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」であります。1985年に悲惨なポリオから赤ちゃんを救おうとRIの重要項目に掲げ、ポリオに挑戦をしてきて以来、昨年は各クラブ1000ドルを唱えて実施した結果、今日まで4ヶ国の常在国を除いて99%のポリオウイルスを封じ込めたそうであります。しかしもう一押ししなければならぬ。それは「END POLIO NOW」これが協議会の分科会で最も激しく意見を交わした課題でした。しかし本会議で、インドの元RI会長サプー氏の「ロータリーが職業奉仕を軽んじたなら、ただの奉仕団体である。職業奉仕こそがロータリーである」と力説したのはとても印象的で、確かな手応えを感じさせた国際協議会でした。



本会議場 開会式の国旗入場



姉妹地区の韓国3700地区宋俊起GEご夫妻と小生夫婦



GSE交換のスウェーデン2360地区 Eva Persson GEとの握手

ガバナーノミニー決定宣言

2011-2012年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、熊澤隆樹（小樽RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、熊澤隆樹君を2011-2012年度第2510地区ガバナー・ノミニーとすることを決定し、ここに宣言します。

2009年1月13日

国際ロータリー第2510地区
ガバナー 矢橋 温郎

2011～2012年度 ガバナー・ノミニー



会員名 ^{くま} ^{ざわ} ^{たか} ^き 熊澤隆樹（小樽RC）

生年月日 1940年（昭和15年）1月6日生（69歳）

職業分類 歯科補綴

医療法人社団 熊澤歯科 理事長

所在地 〒047-0032

小樽市稲穂2丁目11番13号

学 歴 1964年（昭和39年）3月

東京医科歯科大学歯学部卒業

1968年（昭和43年）3月

東京医科歯科大学大学院修了

職 歴 1968～69年 東京医科歯科大学文部教官

1969～87年 熊澤歯科勤務

1969～99年 北海道大学歯学部非常勤講師

2001～06年 小樽歯科衛生士専門学校学校長

2007～現在 //

1987～現在 医療法人社団熊澤歯科理事長

ロータリー歴 1980年3月 小樽ロータリークラブ入会

1985～86年度 幹事

1989～90年度 地区副幹事（粉谷ガバナー年度）

1992～93年度 副会長

1996～97年度 地区副幹事（野口ガバナー年度）

1998～99年度 地区国際奉仕委員

1999～2000年度 地区趣味・職業別親睦活動委員会副委員長

2004～2005年度 会長

2005～2006年度 第6グループガバナー補佐事務局長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル



Stigma 恥辱の烙印

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原 房樹

(札幌東RC)

シカゴクラブの会報には「世界最初の奉仕クラブ」という言葉が誇らしげに謳われています。

以前にも書きましたが、《どんな言葉でも長い間使われていると手垢にまみれふやけてしまうものです》ロータリーの「奉仕」という言葉はその代表格といえます。ロータリーの世界では右を向いても左を見ても奉仕、奉仕の掛け声ばかりで、何か大切なものが失われてしまったようです。「奉仕」はもともとキリスト教から来た言葉ですが、神への奉仕“serve”から「祈り」が失われたらどうなるでしょうか。同じようにロータリーの奉仕から「人の幸せを祈る心」が失われたらどうなるでしょうか。

仏教の「布施行」も根底にあるものは「祈りの心」です。社寺のお賽銭箱に「喜捨（喜んで捨てる）」と書かれているのを見て、疑問に思われた方もいるでしょう。「捨」とは慈・悲・喜・捨の心で、執着しないということです。「捨」はお布施のことなのです。お布施というと、すぐに「あげること」と考えられますが、本当は「させていただく」という感謝の行為が「施」なのです。一般的にモノをさしあげれば、受けとった人は「ありがとう」といいます。しかし、布施の心からすれば、もらった人だけでなく、施した人も感謝するということなのです。施させていただきまして有り難うございます。「喜捨」することで人は罪深い執着心を捨てることのできるのです。そのために喜んで供えさせてもらうので「喜捨」というのです。

近年、ロータリーは大切な「人の幸せを祈る心」を失い、うわべだけの弱者救済に終始する寄付団体、慈善団体、ボランティア団体になってしまったように思えます。弱者救済はロータリアンの務めですが、中でも金銭奉仕が一番やりやすい奉仕です。人は慈善や寄付をすることによって自分の精神状態は満たされます。ただしその絶対条件は自分より金銭的、精神的、肉体的に不幸な人が存在することです。われわれが幸せであることを確認するためには不均衡な社会が必要です。皆が満ち足りているなら奉仕の必要はありません。ロータリアンにはそんな人はいませんが、一般に「弱者救済」を唱える人々が本当に守りたいのは、「気の毒な人々のために善意を示している自分」という自己満足でしかないことが多いようです。そうしたイメージは、善意の衣を着ているが故に次第に傲慢の雰囲気帯びることになります。しかし、そのような「弱者救済」の論理は、「弱者」が何時までも「弱者」であり続けることを前提にしています。「弱者救済」の論理が幅を利かせている限り、「弱者」は「強者」たることはできないのです。ロータリーの奉仕は本来このような「慈善/charity」「寄付/contribution」「施し/giving」とは異質のものです。ロータリーの奉仕とは、人の不幸を自分の問題としてとらえる純度の高い哲学的な物の考え方なのです。人の不幸に救いの手を差し伸べるとき、救われるのはむしろ手を差し伸べた自分の方だと考えます。なぜなら執着心や醜いエゴの心を捨てることのできるからです。

《奉仕の難しさ》

大事なことは貧しい人々に金銭奉仕をする場合、奉仕を受ける側の気持ちの中の

《貧困のスティグマ》を十分忖度（そんたく）しなければなりません。スティグマ/stigmaの語源はギリシ語で、肉体上の「徴（しるし）」を指す言葉です。奴隷、罪人を表す為に体に刻みつけられるか焼き付けられた「痕」でした。いかにして貧困者に生活の保証を、スティグマ（恥辱あるいは汚名）を着せることなく与えるかということは、英、米の社会政策にとって大きな課題なのです。スティグマの概念は尊厳の喪失、市民権の否定、きまり悪さなどと多様です。貧困という問題に限定して考えれば、それは他者とのかわり合いの場合の依存性といえます。どのような依存の形であれ、依存状態に陥ることはだれも望みません。依存という概念の対語は自立であります。なぜスティグマを人は負うのでしょうか。

人間は元来、経済的存在ではなく社会的存在です。人間の本来の目的は個人的利益を守ることではなく、むしろ社会的名誉、社会的地位を確保することにあるでしょう。古くから世界に広く見られる経済規則は「贈り物には何らかのお返しをするのが至極当然である」という互惠関係（交換）と自助の規範です。この互惠観念の規範からはずれると、やがて依存状態にある人の身分関係を低下させます。「貧困であることが恥ずかしいこと」ではなく、「貧困のために他者に依存することが恥ずかしいこと」であるという訳なのです。我々が経済的に独立できないために、自分および家族の生活を全面的に他者ないし公的秩序に依存せざるを得ない状況を思うとき、あるいは何らかの依存状態にある時に他者から一方的な贈与を受け取る時の「惨めさ」は容易に予測できます。

ノーマルな社会とはギブ&テイクの社会です。互いに人間としての尊厳を持てる社会に施しはありません。私の年代は先の戦争直後の非日常の極限状態を経験しました。進駐軍（米兵）からガム、キャンデーを走行中のジープから投げ与えられました。また学校給食では脱脂乳のお世話になりました。脱脂乳を飲む子供たちの感謝の笑顔が報道されました。しかし子供たちの心はなぜか悲しい複雑な気持ちでした。途上国の少数民族の壁もない小学校、貧しい子供たちに絵本やノートを渡すと精一杯の笑みを浮かべてお礼を言います。しかし誇り高い彼らは与える側の善意の行為をどう受け止めるのでしょうか。依存状態に置かれた人がバランスを回復させるために、相手に与えることができるのは笑みを浮かべることと感謝の言葉だけです。ここに与えることの難しさがあります。与えられる側にも人間としての誇りがあります。我々は奉仕をする際、相手のスティグマに十分気を配らねばなりません。ガンジーは、「真の善行は、純潔な者だけがなし得る。善行をひとつしてやろう」などと考えてから善行するような作為の人間は、もうすでに不純だ」と言いました。スティグマを和らげるには施しをするのではなく、祈りの心を持って喜捨をさせて頂くのです。

《ロータリーのエゴ・他人の金で奉仕する団体》

ロータリーは過去に幾千万の人々に人道的な救いの手を差し伸べてきました。これは偉大なことです。あくまでロータリーの奉仕は個人個人の善意によるもので、それぞれが分に応じて喜捨することによって成り立っていました。しかし市場経済が巨大になり、それが国際的な格差増幅にまでなってくると個人的な善意ではとても手が回らなくなってしまいます。そこでロータリーも他人の金を集めて善行をするという虚構、つまり「他人の金で奉仕する」団体となってしまいました。RIの特別プログラムである「ポリオ」は別格として、WCSもマッチンググラントもロータリーのある国同士の奉仕プログラムです。ロータリーの存在しない地域の弱者は浮世の荒波の中に捨て置かれます。彼らから見るとロータリーはエゴイストの集まりと映るでしょう。ロータリアンとして大事なことは、ロータリー加盟国以外の国の貧困の極限状態にある人たちへも「奉仕の心」を適用して、個人としてユニセフをはじめ、多くの人道的NGOに、心のこもった支援募金活動をする事なのです。



ロータリーの新たな奉仕を求めて

地区ガバナー補佐（第5グループ担当）

土谷 享
(札幌南RC)

矢橋ガバナー年度も、ガバナー公式訪問・地区大会等のハードな上半期を乗り切り、いよいよ仕上げの下半期も半ばに入りました。第5グループとしましては、当面2月21日ルネッサンスサッポロホテルでの第4グループと合同のIMの準備に集中しています。

今年度の第4・第5グループ合同のIMは、RIのテーマ「夢をかたちに」を掲げて講演は「心に夢のタマゴを持とう」と題する2002年ノーベル物理学賞受賞の小柴昌俊先生にお願いしました。そして続くシンポジウムは、「こどものいのちと未来を守る～細菌性髄膜炎ワクチン～」のテーマのもと、コーディネーターをRI2510地区社会奉仕委員長・阪崎健治朗会員に、パネリストを札幌東RC山中樹会員、札幌西RC高下泰三会員、札幌西北RC六倉迪彌会員のいずれも小児科医の三人にお願いしました。このシンポジウムのテーマは、2週間前2月8日に開催された、札幌東RC創立50周年記念継続事業の「ヒブワクチン接種促進運動」の特別講演会『子どもたちのいのちと未来を守るヒブワクチン』を引き継ぐものです。

日本での細菌性髄膜炎は年間600人程度発症し、約30人が死亡し、150人程度が後遺障害を残しています。初期の症状が風邪症状に似ているため早期診断が難しく、けいれんなどの症状が現れた際には、病気が進行し重傷化していることがあります。日本でも先進諸国に遅れること10年以上経てようやく2008年12月19日からヒブワクチンが使用できるようになりました。しかし日本の現在の制度は、希望者のみ費用を自己負担して受ける任意接種であり、若い子育て世代には大きな負担になります。ポリオや三種混合のように国が負担する定期接種化の一日も早い実現を目指して世論を喚起していく運動なのです。まさにロータリーの新しい社会奉仕活動の展開です。まず第4・第5グループに所属する札幌市内の16のRCが札幌東RCと一体となって「ヒブワクチン接種促進運動」を展開し、RI2510地区内にも、そして全道・全国にも輪を広げていくことを願っています。

第5グループ所属の8クラブは、今年度から次年度にかけて周年行事を迎えるクラブが多くあります。これには理由があるのです。前段でお知らせしたように札幌東RCが今年創立50周年を迎えます。実はかつて札幌東RCが創立5周年の年に記念事業の一つとして札幌南RC創立を提唱し、そして25周年の年に新札幌RC創立を提唱したのでした。したがって次年度札幌南RCが創立45年を迎えますし、新札幌RCが今年6月に創立25周年を迎えます。さらに札幌南RCが創立10周年の年に札幌真駒内RC創立をスポンスしましたので、札幌真駒内RCは今年創立35周年を迎えました。他に札幌南RCは札幌清田RCと札幌大通公園RCをスポンスしていますが周年事業からはずれています。ですが創立5周年の年に恵庭RC、創立15周年の年に北広島RCをスポンスしていますので、グループ外ではありますが次年度周年行事が予定されています。

2009年下半期に入りましてもう一つの事業がありました。2月1日に札幌市合唱教育研究会主催の第24回中学校合唱演奏会「合唱の輪」を、札幌あけぼのRCの提唱に応じて、第4・第5グループが合同で共催し、物心両面の支援をすることができました。参加中学校の中には札幌市外からも小樽市銭函中、北広島西部中・緑陽中、恵庭恵北中、余市西中学校等が参加されていました。次年度からはもう少しグループの枠を広げて、ニーズに合わせて対応する社会奉仕活動を検討する必要があります。いずれにしても次年度に期待いたします。



ローターアクトクラブは必要か

地区ローターアクト委員長 柳 孝一
(札幌南RC)

ガバナー月信9月号「新世代月間」の際にも書かせていただきましたが、もう一度おさらいです。

ローターアクトクラブ（以下RAC）は1967-68年度国際ロータリーの理事会で「国際理解と奉仕活動を通じ指導力と良き市民育成の目的で青年のためのクラブを結成しそれを後援してゆく計画」を採択しました。1968年3月にアメリカで初めてのRACが誕生しました。これは良いプログラムと日本のロータリークラブがこのRAC計画に飛びつきました。遅れること僅か3ヶ月、日本にもRACが誕生します。同年7月我が2510地区で岩見沢RACが、日本で2番目にクラブとして誕生し、今年40周年を迎えました。（記念式典は昨年11月1日盛大に行われました。）その後、地区内にRACがどんどん誕生します。

どんどん生まれたローターアクトクラブは、減少しながら、現在に至ります。

おさらいはここまでで、ではなぜ、安定した運営ができないのか。

それはローターアクトプログラムが単年度事業ではない上、月2回の例会が一年間続くこと。予算がかかる、などロータリアンにとって面倒なプログラムであるからです。

毎年代わるロータリーの担当委員会で、委員の意向がローターアクトクラブに伝わらないことがあった場合、「アクトはなっていない」という感情を持ってしまう。アクトは敏感に反応し、今年のロータリアンは『アクトのことわかっていない』となります。そのまま進むと「アクトはいらない』『ロータリーの為、わざわざ例会になんか行っていない』と悪循環でアクト会員が退会し、例会が衰退し、「アクトクラブは何もやっていない」「アクトはいらない」と負の連鎖になります。

ロータリークラブ自身の広報・PRが必要だと言われづけています。ローターアクトクラブはロータリークラブの精神を理解している18才から30才までの若者です。その輪を増やすと的確な広報ができます。

彼らが30才になり、アクトクラブを卒業退会して、今度はロータリークラブに入会したいと希望を持ってもらうことは、相対するロータリアンの姿勢が影響します。もちろん経済的に難しい場合が多いとは思いますが、「将来、ロータリアンになりたい」とあこがれを持ってもらうことは、我々ロータリアンにとっても喜ばしいことです。その際は即戦力の新人会員が誕生します。

最後にお願ひですが、ローターアクトに多少でも関わるロータリアンは、できるだけ多く声を掛け、対話をしてください。



地区委員会報告

■委員会名： 米山記念奨学委員会

■委員長： 大石 春雄

■日 時： 2009年1月10日（土）

■会 場： 札幌パークホテル

■出席人数： 10人

第二回委員会

1、2009年度米山奨学生受験に関して

- ・受験人数 34名
- ・2510地区割当数 18名
- ・継続者 4名
- ・新規採用者 13名
- ・クラブ支援申込 1名
- ・本日新規採用決定数 14名
- ・補欠採用決定数 6名

2、選考試験について

- ・34名を二つのグループに分け、各グループ新規採用7名、補欠採用3名を選考する。
- ・面接試験の留意点
- ・採用者は2月1日迄に米山奨学会に委員長が報告
- ・合格、不合格通知は米山奨学会より指定校に通知

3、今後の予定

- ・世話クラブ、カウンセラー依頼 2月中旬～3月
- ・世話クラブ等の米山奨学会への報告 3月10日
- ・オリエンテーション案内 3月下旬

4、2008—2009年度行事予定の確認

- ・2009年3月終了者の歓送会
担当委員 竹田委員、黒澤委員
日 時 2月21日（土） 17：00
場 所 センチュリーロイヤルホテル
参 加 者 米山奨学生、カウンセラー、指導教官、地区役員、地区委員
- ・カウンセラー研修
奨学生、カウンセラーオリエンテーション
第3回委員会
担当委員 山下副委員長、高坂委員、丹羽委員
日 時 4月18日（土） 12：00
場 所 センチュリーロイヤルホテル
参 加 者 米山奨学生、カウンセラー、地区役員、地区委員

5、2009—2010年度地区米山記念奨学委員について

6、その他

■委員会名： GSE委員会
■委員長： 岡崎 芳明

■日 時： 2009年2月12日（木）
■会 場： ロイトン札幌
■出席人数： 9人

第15回GSE派遣団員の1次選考者決定

昨年皆様にお知らせいたしました、次年度はスウェーデンのRI2360地区とのGSEプログラムが決まっております。それに伴い昨年11月15日より開始しましたGSE派遣団員の募集に際しましては、地区内のロータリアンの皆様には、暖かいご協力を頂き誠にありがとうございました。

お陰様で本年1月15日に募集を締め切りましたが14名の応募がございました。その後、2月1日に選考委員による論文内容と面接による厳正な試験を行い、14名の中から下記の6名の優秀な派遣団員候補者が選定されました。

この6名の優秀な団員候補者は奥貫派遣チームリーダーの指導により3月より毎月英会話やロータリーの情報を中心とした研修を始めます。

今回は、より優秀な団員を選考する事と補欠団員を育成する為に、6月までの4回の派遣研修を終えた時点で、更に正式な派遣団員として4名を選考いたします。

この度のGSEプログラムはRI2510地区として初めて社会福祉・医療介護を中心とした特別重点GSEという事もあり、北海道社会福祉協議会の皆様のご協力を請けRI2510地区内の福祉介護関連の施設に募集の案内が行き渡り、更に北海道新聞にGSE団員募集の記事が掲載された事もきっかけとなりまして、過去最大の14名の優秀な派遣団員希望者が集まりました。

応募者の推薦に関わられました関係各位のご協力に心より御礼を申し上げます。

これよりGSE委員会は派遣研修を行いながら次年度のGSEプログラムに向け、受入グループを決定し受入体制を構築していく事になります。

RI2510地区の皆様のご更なるご支援を心よりお願い申し上げます。



青田 美穂
(札幌西RC)



羽田野真寿美
(札幌東RC)



松本 かな
(札幌北RC)



大山 毅
(北広島RC)



鈴木 洋史
(札幌手稲RC)



竹内 孝
(札幌清田RC)

***** メッセージ *****

この度、GSE派遣候補生が固まってほっとすると同時に、「いよいよ始まった」という緊張感の内にも、夢と希望に満ち輝く瞳を持った若者達と、1年余りの研修、そして来年5月にスウェーデンへの4週間強の研修旅行に行けると思うと「わくわくした気持ち」が今の実感です。

これから先困難な事も多々出てくると存じますが、各クラブの皆様のご支援、ご指導をお願いしつつ、私自身これからの日本の福祉を背負って立つ若者達の為に少しでも役立つ事が出来る様、微力ではありますが努力を尽くさせていただける幸せをかみしめながら、精進を続けてゆきたいと心しておりますので宜しくお願い申し上げます。

RI2510地区2009-2010年度
GSE派遣チームリーダー 奥貫 一之

ガバナー補佐会議報告

地区幹事 上出 利光
(札幌西RC)

平成21年1月17日(土)、ウェルシティ札幌(厚生年金会館)において矢橋ガバナー年度の折り返し時点でのガバナー補佐会議が開催された。会議の30分前には多くの補佐が既に会場入りし、補佐の諸氏が一体となり、和気藹々の雰囲気であった。

大金地区代表幹事の司会で会議スタート。議事に先立って矢橋ガバナーより、クラブ訪問に際して、ガバナー補佐らの絶大なる支援に御礼の言葉があった。バーミンガム国際大会に1人でも多くのロータリアンの出席を促して欲しい旨の要請をなされた。また地区大会の懇親会における不手際に謝罪があり、各補佐の担当クラブ訪問に際し、ガバナーからのお詫びの気持ちを伝達して欲しい旨の発言があった。

各補佐は担当クラブを既に複数回訪問している方が多く、各クラブの実情を詳細に把握され、報告された。グループ別会長・幹事会の開催も順調に推移しており、各グループ内の連携もスムーズのようで、IMのみならず、その他の活動もグループ内のクラブ間の協力体制が図られている様子が報告された。会員増強の目標達成に向けては、各クラブ、大変な努力をなされているが、昨今の経済状況で、地域そのものの疲弊がさらに進行し、地域が崩壊の危機にある状況が報告された。65歳以上の会員が、過半数を超えるクラブも多くなり、謂わば「限界集落」ならぬ「限界クラブ」になっている中で、ポリオプラスに対する1000ドルの寄附を既に実行済みのクラブが10クラブ程あり、ロータリアンの底力を示している。円高メリットも最大限享受され、できるだけ早いうちに各クラブとも目標達成を図って欲しい。第2グループの神部補佐からは、次年度の滝川開催の地区大会の準備状況について説明があった。渡邊ガバナーエレクトも研修のため渡米し、いよいよ戦闘モードか？

各補佐から活動状況の説明の後、地区研修リーダーの塚原PGから、総評と最近のRIの動向について蘊蓄のある話があった。不勉強な私としては塚原PGのお話を要約して皆さんにお伝えするのは少々冷や汗ものですが、幾つか紹介します。

- 1) ロータリー活動のバイブルは、手続要覧ですが、これに縛られる必要はありません。各クラブは、それぞれの地域の特殊性の反映として、それぞれ特徴を有しています。ロータリーでは、各クラブはその現状にあわせて、工夫する権利を保障されています。これは、経済状況の悪化、人口の減少が厳しい地域にあって、どうやって会員を確保し、退会を防ぐかという議論の中で出た話です。
- 2) 決議23-34に関して。何度からの修正を受けて、現在「手続要覧」の第6章社会奉仕に「社会奉仕に関する1923年の声明」として掲載されている。上野ガバナー補佐は、その第1項、——ロータリーは、基本的には、1つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超私の奉仕」の哲学である。——を取り上げ、ひとしきり議論になった。塚原PGから、この決議の背景等の説明があった。この決議は、欧米のロータリアンにはその存在意義に疑問が出るらしい。しかし、RIの中でも日本、韓国、台湾という謂わば儒教の思想を有する国を筆頭にアジアのロータリアンにより強く支持され、その活動のバックボーンをなしている。お二人に刺激され、後日、「手続要覧」の決議23-34を読んでみたが埒があかない。「ロータリー情報マニュアル」の歴史的な文書を読んでみた。うーん、ロータリーの歴史は100年に満たないが、重い。ポール・ハリスの「世界は常に変化している。ロータリーは、この世界と共に変化して生長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない」を思い出す。時代に合わせるのは容易いが、その歴史の動きを感じるのはしんどい作業である。

ガバナー公式訪問

江差ロータリークラブ

11月6日（木）

11月6日に、当クラブの例会場「レストラン津花館」に矢橋ガバナーをお迎えして、公式訪問の開幕です。第11グループ光銭ガバナー補佐および大金地区代表幹事を従えての公式訪問です。会長・幹事会、クラブアッセンブリーに引き続きクラブ会員総出のお迎えでの例会となり、和気藹々の公式訪問でした。その間、当クラブの様々な奉仕活動についてご説明を申し上げました。馬場山ロータリーの森植樹事業では草刈や植樹、補植を行い今では、栗の木は既に100本を超えています。その他、創立40周年を記念とした社会奉仕活動や職業奉仕についても詳しくお話させていただきました。矢橋ガバナーからはRIの様子や個人の経歴なども伺え、とても有意義な一日でした。



札幌清田ロータリークラブ

11月11日（火）

11月11日（火）矢橋ガバナー、土谷ガバナー補佐のお二人をルネッサンスホテルにお迎えいたしました。午前10時より会長・幹事会を開催いたしました。少人数クラブゆえの問題点をご相談申し上げ、親身になってお答えいただきました。11時よりクラブ協議会を開催いたしました。各委員会から2008—2009年度のこれまでの活動報告とこれからの活動計画をお聞きいただき、ご意見を頂戴いたしました。そのなかで、大人数クラブなみにそろえた委員会の数を会員数に即した数に整理・統合しては、とのご提案をいただき早速とりかかることいたしました。また、来年度当クラブがお引き受けする予定のガバナー補佐の推薦についてもアドバイスを頂戴し、この件に関しましてクラブ内の意見が統一され大きく前進することができました。引き続き12時30分より例会にご出席いただき、地区の現況・活動の方針、ロータリーに対するガバナーの信条等をユーモアを交えて丁寧に情熱的にご説明・ご披露いただきました。ガバナーの、懇切丁寧でそして温かいお話やご対応に会員一同心を動かされました。個人といたしましてもクラブといたしましてもとても有意義な一日を過ごさせていただきましてクラブ会員一同を代表いたしまして心から御礼申し上げます。



札幌セントラルロータリークラブ

11月11日（火）

2008年11月11日にガバナー公式訪問をうけました。ロータリークラブの組織の性格からいうと、公式訪問を受けることは、地区大会に参加するよりもクラブにとって重要だと理解していますので、それなりの準備はしましたが、何しろ質素な小クラブなので、クラブの認証時のパネルや交換したバナーのある事務所で、会長・幹事、ついでエレクトを加えての率直な懇談の折に、ここは居心地の良い場所ですね、とだけ言っていただけてほっとしました。クラブ訪問は通常例会どおりの設営で受け、ガバナーから今期のRIの課題についてお話を聞き、ポリオ・プラスの事業継続にからんでビル・ゲイツが申し出た醸金に応ずるRI側の対応につき、当クラブでは如何すべきや、課題として受け止めました。



札幌真駒内ロータリークラブ

11月12日（水）

矢橋ガバナーは予定よりもかなり早くお着きになり、10時から会長・幹事懇談会を行いました。齋藤会長からクラブ近況を説明し、姉妹クラブや友好クラブのことについてご指導を受けました。当クラブはクラブ定款・細則の改訂を終えているが、定款のクラブの所在地についてはどのクラブも現状と異なっている状況であり、第4、第5グループ合同会長・幹事会で協議し現状に合わせることも検討が必要であろうとのお話もありました。

クラブ協議会、例会では来年の姉妹地区である3700地区の地区大会とバーミンガムで開催される世界大会への協力もお願いされました。さらに財団補助金を活用した事業を是非行ってほしいとのご指導をうけました。



札幌西北ロータリークラブ

11月13日（木）

10時より会長・幹事・会長エレクトとの懇談会、11時よりクラブ協議会を通して、当クラブの現況や各委員会の活動方針を説明しました。小川会長から、当クラブは家庭的な雰囲気重視し、ビジターの皆さんが出席しやすい例会づくりを目指していることが報告され、当クラブの会員であり第4グループガバナー補佐として出席した大島会員からも、親睦と会員相互の交流に引き続き尽力して欲しいとのコメントがありました。例会では矢橋ガバナーから、地区大会の苦労話、最近の青少年交換留学事情、平成21年5月の韓国3700地区大会への参加要請、ポリオ・プラス寄付への協力をお願いなど盛り沢山の話題を随所にユーモアを交えてお話いただきました。



札幌幌南ロータリークラブ

11月14日（金）

数名のお供の方と共に、当クラブの会場に入られるのかと思いき緊張しながらお待ち致しておりましたところ、予定の10時よりも30分以上も早く、しかもおひとりだけでこやかに会場に入られました。

矢橋ガバナーのお人柄が拝見できたように感じられました。まずは、ガバナーより地区大会参加への感謝のお礼の言葉を戴き土谷ガバナー補佐を交え、会場、幹事、会長エレクトとの懇談会では、和やかな雰囲気懇談をとって戴きました。その後、クラブアッセンブリーにご参加いただき、たくさんのご意見を頂戴しクラブ例会におきましてもご自身の体験を交えながら貴重なご意見をたくさん戴きました。

例会の時間が足りないくらいの有意義な内容でございました。

行き届かない面がたくさんあったかと思いますが、矢橋ガバナーとの親交を図れましたことに感謝をいたしましてロータリー活動に励んでまいりたいと思います。



札幌手稲ロータリークラブ

11月15日（土）

11月15日矢橋ガバナー、大島ガバナー補佐をお迎えしクラブ協議会を開催致しました。矢橋ガバナーは地区大会の終了直後にもかかわらず既に10クラブの訪問を終え、我がクラブが11箇所目とのことです。お疲れ様です。申し遅れましたが地区大会ではガバナーのホームクラブであります札幌西RCの皆様には大変お世話になりました。御礼申し上げます。

さて、クラブ協議会では各委員会からの報告に対し熱心に耳を傾けられ、且つ適切なアドバイスを数多く頂きました。また会員からの質問や提案、たとえば「地区におけるCLPの進捗具合・CLPをどう評価されているか」「地区主催でロータリーの大勉強会を開催してはどうか」「ロータリーの神髄が薄れていく現状にどう対処するのか」等に対し、熱心にそして明解にお答え頂きました。矢橋ガバナーのお人柄、物の見方・考え方を知ることができました。最後に地区目標である3項目をぜひ達成するよう檄が飛びました。我がクラブとしても「夢をかたちに」を強力に推進することを誓いました。



札幌北ロータリークラブ

11月17日（月）

11月17日、矢橋温郎ガバナー公式訪問を受け、大島利一ガバナー補佐のご同行を頂きました。10時より会長・幹事会。11時よりクラブ協議会が行われ、地区クラブの実情等をお聞きし大変有意義な会合となりました。

クラブ協議会では、四大奉仕委員会を中心にこれまでの計画と実行状況を発表。

特に当クラブの話題としては、国際奉仕活動、社会奉仕活動について具体的なお話を交わし、他クラブの参考例も聞かせていただきました。例会では当クラブは会員数44名のうち35名が出席し、矢橋ガバナーからは地区大会運営状況等色々苦心された事等お聞きし大変楽しい例会となりました。



札幌はまなすロータリークラブ

11月18日（火）

11月18日（火）矢橋温郎ガバナーと大島ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問を午前十時より会長・幹事会、11時よりクラブ協議会、午後12時30分より例会を開催いたしました。

クラブ協議会では当クラブの現況説明と活動計画について説明をさせていただきました。矢橋ガバナーよりクラブ活動に対する多くの実りあるご助言をいただきました。

また、例会での矢橋ガバナースピーチでは、ロータリーへの熱い思いをお聞かせいただきました。その中では、米山奨学生についてのお話やポリオ・プラスの取組状況、新世代の問題点と取組状況について分かり易く説明をしていただき大変実り多い公式訪問でした。



北広島ロータリークラブ

11月25日（火）

11月25日、矢橋ガバナー、羽芝ガバナー補佐、武田地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。午前10時からの会長、幹事、会長エレクト懇談会では、ガバナーに直接、当クラブの悩み等を聞いて戴き、また11時からのクラブ協議会では各委員長からの本年度事業報告にコメントを戴きました。当日はとても天気が良く、会場に使った北広島クラッセホテルからは樽前山、恵庭岳から藻岩山、手稲山までくっきりと見える清々しい一日となりました。



札幌ロータリークラブ

11月26日（水）

矢橋ガバナー、大島ガバナー補佐を迎えての会長・幹事会は午前10時より始まり、会長から先ず当クラブの概況について説明があり、ガバナーからは地区の現況や他地区の活動状況など興味深いお話を頂きました。また次々年度当クラブからガバナーを輩出するに当り貴重なアドバイスも伺いました。午前11時からのクラブ協議会では、四大奉仕委員長から活動状況の報告があり、その後質疑応答では、CLP・DLPやインターアクト・ローターアクト、会員増強など多岐にわたりガバナーからご自身の貴重な経験や豊富なロータリー知識に基づく有益なご示唆を頂きました。午後12時30分からの例会では李東建RI会長の方針に沿った地区の目標についてのお話があり、とりわけ米山・財団、ポリオ・プラスや水の問題についてはガバナーのロータリーに対する熱い思いを会員一同感じ、和やかなうちに会は無事に終了しました。



札幌東ロータリークラブ

11月27日（火）

会長・幹事懇談会、クラブ協議会に続き、矢橋ガバナーのホームクラブを除く第2510地区、最後のガバナー公式訪問例会が開催されました。クラブ協議会では、ガバナー及びガバナー補佐にご挨拶を頂き、ガバナーからはCLPのお話を頂戴しました。四大奉仕委員会を始め、当クラブの全委員長が上半期の活動報告、後半の活動計画を発表した、50周年記念事業に対するご協力をお願いをさせて頂きました。終わりにガバナーより何点かご質問があり、新会員に対するカウンセラーには特に感心された様でした。例会では一人の退席者もなく、矢橋ガバナーの軽妙な語り口で非常に楽しかった、当クラブにとって大変有意義な公式訪問となりました。



札幌西ロータリークラブ

12月2日（火）

2008年12月2日、矢橋ガバナーの公式訪問は73クラブの最後にふさわしく、ホームクラブで行なわれました。63名のクラブ会員は、心よりこの日を楽しみに待っておりました。例会場は「お帰りなさい、ガバナー！」の握手攻めでスタートです。

例会に先立ち午前10時より、矢橋ガバナー、大島第4グループ・ガバナー補佐、石谷会長、石丸エレクト、前原幹事で懇談。その後、理事、各委員長が加わりクラブの活動報告を致しました。

例会は、全員参加のアッセンブリー方式です。矢橋ガバナーから、10月の地区大会で手作りをモットーにした当クラブ会員の団結と協調に対してお気持ちを述べられ、会員一同、感激をあらたにしました。他のクラブから指摘された反省点についても伺いました。

また、矢橋ガバナーは会員が数名のクラブから百名を超えるクラブのあり方、CLPの採用の有無など今後のクラブ運営の問題も話されました。どのお話も当クラブと無関係ではなくとても勉強になりました。

これからも、IMや世界大会などご多忙でしょうが、どうぞご夫妻おそろいでお体にご留意なされ、ご活躍されますよう、クラブ会員全員が心よりお祈り申し上げます。

「風雪に耐えしは見せず梅真白」 絢子



公式訪問完了の御礼

昨年7月15日、江別西RCを皮切りに12月2日ホームクラブの札幌西RCまで約半年にわたるガバナー公式訪問を恙無く終了する事が出来ました。

これも一重に温かくお迎え戴きました会長、幹事を始めとする各クラブ会員の皆様、随伴戴きました12名のガバナー補佐の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

公式訪問はガバナーの責務の中でも最重要であるのは無論ことでありますが、これを通して私は大いに勉強をさせて戴き、各クラブの会員一人一人の熱意を戴いた次第であります。これをステップに残る任期を全うする所存であります。

拝顔の上お礼を申し上げますのが本筋ではありますが、とりあえず紙上をお借りして重ねて御礼申し上げます。

ガバナー 矢橋 温郎

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

札幌西RC 矢橋 温郎 会員 1月30日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川 RC 野田 富夫 会員(1回) 1月30日
柳 義文 会員(3回) 1月30日
札幌 RC 市川 唯行 会員(5回) 1月30日
札幌西北RC 大島 利一 会員(2回) 1月30日
小樽南 RC 福島 正紘 会員(2回) 1月16日
岡崎 芳明 会員(2回) 1月16日
立森 成芳 会員(2回) 1月16日
大橋 一弘 会員(1回) 1月16日
千歳 RC 末広 孝 会員(1回) 1月30日
函館セントラルRC 伊藤 道雄 会員(3回) 1月23日
苫小牧北RC 高橋 康則 会員(1回) 1月30日

■ポール・ハリス・フェロー

滝川 RC 山口 清悦 会員 1月30日
江別西 RC 滝沢 仁 会員 1月30日
小樽南 RC 工藤左千夫 会員 1月30日
千歳 RC 本宮 輝久 会員 1月30日
酒井 宏 会員 1月30日
瀧澤 順久 会員 1月30日
室蘭北 RC 斎藤 泰成 会員 1月30日
江差 RC 前川 敏雄 会員 1月16日
苫小牧 RC 渡辺 健治 会員 1月9日

■ベネファクター

札幌はまなすRC 遠島 芳然 会員 1月30日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

滝川 RC 細田 光人 会員(5回) 1月7日
中島 健 会員(8回) 1月7日
篠島 弘 会員(5回) 1月7日
上田 英二 会員(2回) 1月7日
札幌 RC 佐々木正丞 会員(1回) 1月22日
札幌西 RC 矢橋 温郎 会員(14回) 1月27日
札幌真駒内RC 神谷 英光 会員(11回) 1月22日
千歳 RC 浅沼 廣幸 会員(1回) 1月27日

千歳 RC 福田 武男 会員(13回) 1月27日
藤本 敏廣 会員(2回) 1月27日
中山 和朗 会員(2回) 1月30日
函館五稜郭RC 酒井 正人 会員(11回) 1月23日

■米山功労クラブ

札幌 RC 25回 1月22日
札幌西 RC 22回 1月27日
千歳 RC 6回 1月27日

文庫 通信

(257号)

【ロータリー文庫】は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- ◎【異文化の架け橋】
柴田恭子 2008 2p (D.2610)
- ◎【浪漫なしで生きていけない】
三輪休雪 2008 10p (D.2710)
- ◎【地方発!!人づくり国づくり】
川勝平太 2008 12p (D.2710)
- ◎【いくつになってもその気になれば一歩踏み出せる】
名取美和 2008 4p (D.2820)

- ◎【愛と勇気と感動と】
加藤タキ 2008 12p (D.2550)
- ◎【日本の底力】
麻生太郎 2008 12p (D.2650)
- ◎【人生って支えあえっこ】
牟田悌三 2008 10p (D.2700)
- ◎【ネット社会と子供の危機
～心の発達は大人大い～】
柳田邦男 2008 19p (D.2700)

[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫のホームページが新しくなりました

体裁を一新するとともに、分かりやすく利用しやすくなりました。文献のコピーが注文できます。また、デジタル化した文献「*」はダウンロードできます。どうかお気軽にご利用ください。お問合せは下記事務局まで

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

3月のロータリーレート 1ドル=90円

新 入 会 員 の ご 紹 介 (敬称略)



川浪 弘平
(江別西RC)

■入会/
8年12月2日
■職業分類/
税理士



加藤 晶啓
(千歳セントラルRC)

■入会/
8年12月2日
■職業分類/
ビジネスホテル



佐藤 克男
(森RC)

■入会/
8年12月16日
■職業分類/
電気設備業



坂内 重人
(白老RC)

■入会/
9年1月1日
■職業分類/
製造業(種菌)



菅原 義男
(室蘭北RC)

■入会/
9年1月6日
■職業分類/
自動車整備業



菅原 正明
(室蘭北RC)

■入会/
9年1月6日
■職業分類/
花・植木小売業



手島 和枝
(千歳セントラルRC)

■入会/
9年1月13日
■職業分類/
スナック



曽我 浩司
(苫小牧RC)

■入会/
9年1月23日
■職業分類/
地方銀行



辰巳 伸明
(苫小牧RC)

■入会/
9年2月6日
■職業分類/
通信機器販売

訃 報



須藤 久男 会員(倶知安RC)
2009年1月14日ご逝去(享年74歳)

【ロータリー歴】
1969年12月 入会
1988年-89年度 会長

第3700地区（韓国・大邱）地区大会のご案内

当地区と姉妹地区提携をしております第3700地区（韓国・大邱）の地区大会が下記の通り開催されます。今年度、札幌にて開催しました当地区大会には、朱七錫総裁をはじめ大勢の姉妹地区ロータリアンのご参加を戴きました。

大会プログラムの詳細についてはまだ届いておりませんが、当地区内のロータリアン多数のご参加をお待ちしております。韓国への旅程等についてはガバナー事務所までお問合せ下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

大会1日目 2009年4月24日（金） 場所：インタープルゴコンベンションホテル

大会2日目 2009年4月25日（土） 場所：大邱コンベンションセンター

2008—09年度 RIの賞・表彰についてのお知らせ

■会長賞

2008—09年度会長賞プログラムは、李東建会長の「夢をかたちに」のテーマを支えるものです。ウェブサイトから入手できる2008—09年度会長賞要項には、受賞資格を満たすためのさまざまなクラブ活動について詳しく説明されています。受賞資格を得るには、クラブは子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを実施し、2008年7月1日から2009年3月31日までに会員を1名純増させるという会員増強目標を達成し、さらに本要項に挙げられている5つの分野から活動をそれぞれ1つずつ完了させなければなりません。各クラブ会長は、会長賞申込書に記入し署名した後、2009年3月31日までに地区ガバナーに申込書を送る必要があります。

ローターアクト・クラブとインターアクト・クラブについても、要項に挙げられた活動の中から全部で少なくとも4つの活動を実行することで受賞の資格を得ることができます。提唱クラブは、ローターアクトおよびインターアクト会長賞申込書に署名した上、2009年3月31日までに地区ガバナーに提出しなければなりません。

最後に、RI広報賞は、2008年7月1日をもって、RI理事会により廃止されたことのお知らせいたします。広報活動の表彰に関心のあるロータリー・クラブは、会長賞を目指して、受賞資格となる活動を実施することができます。

皆さまの地区で優れた活動を行っているクラブを称え、表彰するためにご協力いただけますようお願い申し上げます。ご質問がありましたら、お気軽に当方までお問い合わせください。

Jesse Allerton, Supervisor, Programs & Presidential Initiatives
(プログラム・会長推進活動担当スーパーバイザー、ジェシー・アラートン)

David Plater, Senior Coordinator, Programs & Presidential Initiatives
(プログラム・会長推進活動担当シニア・コーディネーター、デビッド・プレイター)

ファックス：1-847-866-6116

Eメール：riawards@rotary.org

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2008.7.1	2009.1.31	増減	内女性	
1	深 川	3	36	36	0	3	83.25
	羽 幌	4	48	48	0	1	85.87
	妹 背 牛	4	9	9	0	0	80.55
	小 平	4	14	13	-1	0	78.85
	留 萌	4	45	43	-2	0	86.25
小 計			152	149	-3	4	82.95
2	赤 平	4	29	28	-1	1	92.00
	芦 別	4	44	37	-7	0	91.67
	砂 川	3	52	55	3	0	95.76
	滝 川	4	99	100	1	2	77.00
	小 計			224	220	-4	3
3	美 唄	4	38	37	-1	0	88.30
	江 別	4	34	34	0	1	89.71
	江 別 西	4	27	30	3	3	85.83
	岩 見 沢	3	87	89	2	0	87.36
	岩 見 沢 東	3	34	34	0	4	87.50
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.80
	栗 山	3	26	27	1	2	100.00
	当 別	4	34	33	-1	0	93.30
	小 計			303	308	5	11
4	札 幌	4	117	125	8	0	97.62
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	3	25	22	-3	4	77.28
	札 幌 北	3	43	43	0	6	88.89
	札幌モーニング	4	49	51	2	0	72.90
	札 幌 西	4	62	62	0	4	94.44
	札 幌 西 北	4	39	38	-1	5	96.38
	札 幌 手 稻	4	34	34	0	1	97.80
	小 計			387	391	4	21
5	札 幌 東	4	120	125	5	0	96.11
	札 幌 清 田	4	18	18	0	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	65	65	0	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	3	90.44
	札 幌 南	2	92	89	-3	0	96.38
	札幌大通公園	3	9	9	0	2	81.50
	札幌セントラル	3	14	13	-1	6	76.90
	新 札 幌	4	32	30	-2	3	95.08
小 計			385	384	-1	18	92.05
6	岩 内	4	21	22	1	0	85.00
	俱 知 安	3	46	45	-1	4	65.50
	小 樽	4	69	69	0	0	85.94
	小 樽 南	4	73	73	0	0	88.90
	小 樽 銭 函	4	21	21	0	2	80.00
	蘭 越	2	11	11	0	0	86.35
	余 市	4	39	40	1	4	87.70
	小 計			280	281	1	10

1月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,816人
当月末会員数(女性)	2,836人(102人)
増加会員数	20人
当月平均出席率	86.00%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			2008.7.1	2009.1.31	増減	内女性		
7	千 歳	4	63	64	1	3	78.90	
	千歳セントラル	4	35	37	2	2	87.50	
	恵 庭	4	39	39	0	0	78.37	
	北 広 島	4	17	17	0	0	86.77	
	長 沼	2	20	20	0	3	77.50	
	由 仁	4	10	11	1	1	85.00	
	小 計			184	188	4	9	82.34
8	え り も	4	22	23	1	0	91.30	
	三 石	2	15	15	0	1	100.00	
	様 似	3	23	24	1	1	96.50	
	静 内	4	72	73	1	1	84.13	
	浦 河	3	34	34	0	2	89.22	
	小 計			166	169	3	5	92.23
	9	伊 達	3	53	55	2	0	74.54
室 蘭		4	43	44	1	0	64.54	
室 蘭 東		4	41	38	-3	0	80.95	
室 蘭 北		4	34	36	2	2	100.00	
登 別		4	31	31	0	2	84.87	
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	83.00	
小 計			211	213	2	4	81.32	
10	函 館	4	87	88	1	0	74.28	
	函 館 亀 田	2	45	45	0	2	94.16	
	森		3	34	35	1	0	77.10
	七 飯	4	16	16	0	0	76.50	
	長 万 部	3	10	10	0	0	66.60	
	函館セントラル	4	24	25	1	1	71.88	
	小 計			216	219	3	3	76.75
11	江 差	4	19	20	1	2	75.00	
	函 館 五 稜 郭	4	55	54	-1	0	100.00	
	函 館 東	4	45	46	1	4	85.08	
	函 館 北	3	30	30	0	0	90.81	
	北 斗	4	19	17	-2	2	64.70	
	松 前	3	5	5	0	0	80.00	
	小 計			173	172	-1	8	82.60
12	白 老	3	26	28	2	0	80.00	
	苫 小 牧	4	50	53	3	2	81.20	
	苫 小 牧 東	4	25	26	1	2	83.65	
	苫 小 牧 北	4	34	35	1	2	93.08	
	小 計			135	142	7	6	84.48
合 計			2,816	2,836	20	102	86.00	

地区カレンダー（3月・4月）

3月 識字率向上月間	
1 (日)	会長エレクト研修セミナー（砂川） 地区財団セミナー、米山セミナー（砂川）
2 (月)	
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	第7・12グループ合同IM（千歳）
8 (日)	2009-2010年度全国会員増強セミナー（横浜）
9 (月)	
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	札幌東RC創立50周年記念式典（札幌）
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	
19 (木)	
20 (金)	春分の日
21 (土)	2009-2010年度GSE第1回研修会
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	

4月 ロータリー雑誌月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	第10・11グループ合同IM（函館）
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	地区協議会（滝川）
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	韓国第3700地区大会（大邱）
25 (土)	韓国第3700地区大会（大邱）
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	昭和の日
30 (木)	

《例会曜日・例会時間・例会場の変更等について》

- 小樽 R C：例会場及び事務所変更について
小樽グランドホテルが平成21年2月15日をもって閉館となりましたので、2月16日より下記の通り例会場及び事務所を変更致しました。
例会場：グランドパーク小樽 小樽市築港11番3号 電話0134-21-3111
例会日：毎週火曜日12：30～13：30（変更なし）
事務所：〒047-0008 小樽市築港11番3号 グランドパーク小樽内
電話0134-21-3111 FAX0134-21-3401 事務局員：石崎悦子
- 小樽南 R C：例会場及び事務所移転について
小樽グランドホテルが平成21年2月15日をもって閉館となりましたので、2月11日より下記の通り例会場及び事務所を変更致しました。
例会場：㈱ニュー三幸（さんこう） 〒047-0032 小樽市稲穂1丁目3番6号
電話0134-33-3500 FAX0134-32-5670
事務所：〒047-0024 小樽市花園4丁目5番16号 板垣建設㈱内
電話0134-24-1288 FAX0134-22-1431
- 札幌西北 R C：事務所移転について
3月2日より下記住所に事務所を移転致しますので宜しくお願い申し上げます。
事務所：〒060-0054 札幌市中央区南4条東4丁目2番地1 さくら総合会計ビル2階
電話011-200-2066 FAX011-200-2067
E-mail：sap-seihoku.ri2510@dao.or.jp
- 江別 R C：3月19日（木）移動夜間例会 18：30～
場所：レストラン丸め 江別市一番町1-1
- 江別西 R C：3月10日（火）休会
- 岩見沢東 R C：3月31日（火）休会
- 室蘭北 R C：3月17日（火）夜間例会「クラブフォーラム」 18：30～
場所：ホテルサンルート室蘭
3月24日（火）休会（3月26日（木）3RC合同例会の振替）
- 苫小牧 R C：3月6日（金）の例会を下記の通り変更します。
3月7日（土）第7・第12グループ合同IM 15：00点鐘
場所：ホテル日航千歳
3月20日（金）休会

編集後記

昨1月17日開催のガバナー補佐会議は、上半期の各補佐の熱闘を物語るもので、極めて印象深いものであった。忙しい合間を縫っての活動に大変頭の下がる思いで拝聴した。会議後、懇親の場では打って変わってリラックスした様子でそれぞれを互いに労っているシーンは誠に微笑ましい限りとみた。

ガバナー月信も話題にあがり、特にガバナーの巻頭言はすこぶる好評であった。特に従来の特別月間を中心とした堅い話ではなく、ロータリーライフを楽しむガバナーの人間性が垣間見え、中でも第2号（8月号）での「妻から学んだ国際交流の極意」は極めつけと絶賛した人が多い。早いもので既に第9号（3月号）まで発行を終え、残るは後4号のみとなった。今後とも鮮度を失わない編集で臨みたい。

1月27日突然なるメールが飛び込んで来た。発信者はRI青少年交換委員会関係副委員長。「緊急情報」（米国オレゴン州ポートランドで1月24日夜、2人のロータリー交換学生が射殺されるという痛ましい衝撃的な事件が発生しました。日本人の留学生は含まれていません。ニュースによりますと土曜日の夜、ポートランドのダウンタウンで群衆に向けて無差別に発砲されたようです。各地区におかれましては、派遣学生および受入学生に対しまして、より一層の危機管理に努めて戴きたく存じます）詳しく知りたいと思い、新

聞を開き記事を調べたが何も報道はされてはいなかった。

日本のジャーナリストは銃社会のアメリカでのこの種の事件は頻発していて報道価値が薄いのか、ともかく派遣学生の親元の心配は大変なものだと思う。絶対にあってはいけない事だ。この種の偶発的リスク回避はあるのだろうか？気になるニュースである。

1週間程して前記「緊急情報」の続報が入った。それによると1月24日夜、1人の来訪学生の誕生日を祝うため、11名の交換留学生在が人気ディスコへ向って歩道を歩いていた時に惨劇が起こった。失恋で自棄になった青年が群衆に向けて無差別銃撃の後、自殺をしたものである。1人は胸部を撃たれ即死。1人は下腹部を撃たれ死亡。4人は傷を負い入院、又残りは軽傷を負った。死亡した少年は地元学生とペルーからの交換学生。他は仏、台湾、エクアドル、グアテマラ、アルゼンチンの学生である。知らせを受け、直ちに地区青少年委員会は危機管理マニュアルに従って救急センターに駆けつけ、情報把握と関係筋への連絡にあたった。地区ガバナーは翌朝すべての関係先の今後のフォローアップの為、タスクフォースを立ち上げた。以上が概略である。その後の対応については、又詳細が入ると思うが、誠に痛ましい。そして二度と起こってはならない悲劇である。心よりご冥福をお祈り致します。（大金）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com 執務時間: 10:00～17:00(土・日・祝祭日休み)



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510
2008～2009
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



表紙：第60回札幌雪まつり会場
撮影：田宮哲夫 札幌西RC